



福岡公民館だより4月号



発行：ふくおかまちづくり協議会 福岡公民館 TEL72-2144

『第48回ふくおか芸能祭』が開催されました

3月3日(日)ふくおか文化協会第48回芸能祭が常盤座で開催されました。出演サークル会員の皆さんは、緊張と高揚感の中、見事に唄・舞踊・箏・和太鼓などを披露し、会場は大いに盛り上がり観客をわかせることができました。

文化協会(芸能系・文化系)の皆さんの活動が今後さらに活発になり、サークルが長く継続されていく事を期待しています。



ニツ森吟詠会
早川三郎さん(94歳)
詩吟を披露していただきました。



福岡小学校で子ども歌舞伎を披露！

3月14日(木)の昼休み、福岡小学校の多目的ホールで、福岡小学校歌舞伎クラブの発表会がありました。

今年度から、福岡小学校の4・5・6年生のクラブ活動に、地域の方が講師になる『歌舞伎クラブ』ができ、常盤座歌舞伎保存会の方々が指導しています。

当日は全校生徒の前でカッコよく見得を切り、一年間練習した姿を披露していました。



淡彩スケッチ愛好会 作品展開催中

展示期間 3月14(木)～4月11日(木)

福岡公民館講座「淡彩スケッチ」修了後、「淡彩スケッチ愛好会」として活動されています。今年度サークル活動で描き上げた作品を公民館ウインドウギャラリーに展示しています。力作揃いです。ぜひご覧ください。

公民館ウインドウギャラリーは、どなたでも利用していただけます。展示を希望される方は、公民館までお申し込みください。



「ふくおかの偉人」シリーズNo.5 神様になった西尾三右衛門(勝讀)ってどんな人？

3月号で紹介した、元禄2年(1689)の山境争いは苗木藩での訴訟で一応の決着がつけましたが、その後も山境争いは続き、結局解決したのは、寛政11年(1799年)江戸幕府評定所の判決をもってでした。実に100年を超える山境争いでした。当時、福岡村の庄屋であった西尾三右衛門(勝讀)は、江戸まで足を運び山境争いの解決に尽力しました。

福岡村の庄屋を退いてからは、生まれ故郷の苗木藩名倉村(現加茂郡白川町)の訴訟問題解決のためまたも江戸に行きましたが、病気で亡くなってしまいました。福岡村の人々は、八布施榊山神社の横に西尾神社をつくり、西尾三右衛門(勝讀)の霊神を祀りました。八布施榊山神社の境内には顕彰碑も建立されています。

福岡公民館講座「ふるさとの偉人」より抜粋



八布施榊山神社



顕彰碑



「春の星」と「みずがめ座流星群」観測会のお知らせ

春の流星群が観測できる時期になります。毎年、公民館で開催している星空観測会を、今年度も開催します。みなさん一緒に星空を眺めましょう。どなたでも参加無料です。

開催日は、5月5日(日)午後8時～午後9時までの1時間です。場所は、福岡公民館と旧福岡小学校です。

詳細は、同時配布の「春の星」と「みずがめ座流星群」観測会の申込書をご覧ください。ご家族、お友達、ご近所さんをお誘いのうえ、ご参加ください。

次回は、8月と12月も計画しています。お楽しみに！

